あさおの町会・自治会 vol.3

下麻生自治会
会長　志田　弘一

下麻生地域は、小田急線柿生駅の南側に位置し、いまなお緑豊かなところです。

下麻生自治会は、昭和28年に創立されて今年で55周年を迎えました。

会員数は、約1、250世帯ほどで組織され、会員の協力をいただいて親和と団結のもとに全員参加で活動しています。

自治会は、全世帯を18ブロックに区分けし、さらにブロックを78組に分け、各ブロック及び各組にはそれぞれ責任理事・組長を置き、自治会からの回覧などの連絡事項は、この組織を通して各家庭に届くように行なわれています。当自治会は、防犯部他6部会と子供会、朗生会の9部会があり活発に活動しています。

自治会祭の様子

自治会の行事は、4月に定期総会が開催され、年度の事業計画が決められます。総会には、事前に総会資料（前年度の活動報告・決算書、新年度の予算案・事業計画案など、25ページ程度の資料）を作成し、全会員宅に各戸配布しています。この総会資料をもとに審議されて年間事業が決められています。

敬老会の様子

実際の運営は、毎月開かれる役員会に各行事の実施計画案が提案され検討した後、理事会にかけて審議し実施に移されます。

当自治会の主な行事について紹介します。7月に自主防災訓練が行われます。防災意識の向上と発災時の対処法を習得するため、麻生消防署のご指導を得て、消火器の使用実技、消防団の放水実技、炊き出し訓練などが行われます。また、7月末に最大のイベントである自治会祭が行われます。プログラムには、大勢の方が参加できるように工夫し、日中に子供向けのプログラムを、夜は盆踊りを中心に、また、自治会サークルの模擬店が多数出店され、終日大勢の参加者があり盛況に行われています。敬老の日には、福祉部主催の「敬老の集い」が行われ、また、厚生部は年2回町内美化活動を企画し全員参加で行います。その他の部会でも、当初の計画に基づいて行事を行っています。

今年の事業として「安心・安全の街づくり」を目指し、町内の防犯灯を蛍光灯から水銀灯に切替える工事を計画し、今年度の工事として町内防犯灯の半数を水銀灯に切替えました。会員の皆様からは、町が明るくなったと好評です。今後も引続き工事を進め「安心・安全な街づくり」をさらに進める予定です。

公園の地元管理については、管理運営協議会を結成し、現在、自治会内の4公園を地元管理に移行しました。会員の協力を得て草刈り・清掃などを日々行っており、きれいにすれば利用者の増えることを実感しています。

多摩美町会
会長　辻　實

多摩美の街は、草木の茂った多摩丘陵の細尾根に、昭和30年初頭から土地開発ブームに乗って宅地造成された緑と坂道の多い住宅地で、昭和36年移住者20数軒で多摩美町会を発足させ現在人口1、400余人、世帯数540余軒となり尾根を境に約7割が南斜面、3割が北斜面の静かな住宅街になっています。

自主防災訓練でのAED講習会

その後、当町会周辺の宅地開発が進み、新たに6町会・1自治会が発足し、多摩美地区全体では人口2、500余人、世帯数1、080余軒で、通称「多摩美八町会」と呼んでいます。

昭和36年町会発足時は、宅地造成が粗製濫造であったため風水害に脆く、痛んだ道路（すべて私道）や水道など生活環境の整備補修が必要でしたが、開発会社の倒産も絡んで、住民自ら「自分たちの町は自分たちで守る」町ぐるみの協力によって大きな風水害や犯罪などの被害を未然に防いできました。

平成に入り、公道化推進委員会を設置し、住民挙げての測量事業に取り組み、14年には完成の域に達し、道路の拡幅舗装、給水管の改良、一部を除いた下水道化が行われ、一般的な住みよい町づくりができました。

最近の当町会の現状について述べると、一つには地域活性化を目標にした会館建設があります。

前記のように道路・宅地が粗製濫造であったため、その維持管理にあたり住民の強い連帯感が培われておりましたが、新旧住民の協調する場がなく、歴代町会長は、公道化完成までの30年間、ガス引込みの見返り資金などを会館建設資金のため積み立ててきました。

その間、数回にわたる会館建設の折衝が行われたようですが、いずれも不調に終わり今日に至りました。私どもも先輩の願望を引継ぎ会館建設に努力し、その結果、町会のほぼ中央に位置する土地家屋を会員総意で買収することができ、18年7月家屋内外の改造工事を経てオープンすることができました。

会館での緊急時のガス対策講習会

その結果、多摩美八町会の会議や懇親会など様々な行事に利用され、老若男女が親睦の輪を広げ、地域が持つ自らの長所を見つめ風土にあった文化の高揚を図れるようになったことが大きな成果であったと思います。

また、二つには多摩美地区の町会は、前述のように八町会となっていますが、共通的な防犯灯の整備、公園などの維持管理、緑地保護運動、生活環境整備など緊密な連携のもと、安全・安心な町づくりを推進するとともに、例年開催する夏の盆踊り大会、適時行う防災訓練、美化活動の各行事は、常に合同で行い、多摩美全体の町づくりと活性化を図るよう努めています。

対市要望事項の集約結果

麻生区町会連合会及び各町会・自治会からの平成20年度対市要望事項の集約結果は、次のとおりとなりました。現在、関係各局へ働きかけています。

《麻生区町会連合会としての要望》

❶都市計画道路尻手・黒川線の未着手区間の建設促進と進捗状況の開示について
❷麻生区交通空白地域、交通不便地域へのコミュニティ交通（コミュニティバスなど）の運行について
❸川崎縦貫高速鉄道について
❹横浜市営地下鉄3号線のあざみ野駅から新百合ヶ丘駅への延伸について
❺町会・自治会の活動拠点としての既存公共施設の増改築及び開放事業について
❻柿生駅周辺の整備促進と情報の開示について
❼世田谷町田線の拡幅整備などと情報の開示について
❽都市計画道路麻生通り・横浜上麻生道路（野川柿生線）、菅早野線及び野川柿生線の拡幅整備促進について
❾新百合ヶ丘駅周辺の総合交通対策の推進について
❿災害時における都市公園の利用方法について

《各町会・自治会からの要望》

合計72件（内訳）総務局1件、環境局9件、まちづくり局4件、建設局8件、麻生区役所26件、交通局2件、教育委員会2件、その他20件（重複含む）

第23回川崎市全町内会大会

日　時　11月17日（月）午後2時～
場　所　川崎市総合自治会館
講　演　県安全防災局による講演
式　典　表彰式・感謝状贈呈式

受賞者（敬称略）

川崎市町内会・自治会長永年勤続功労者表彰（市長表彰）
10年　岡野幸雄（水暮）
川崎市全町内会連合会感謝状贈呈（会長表彰）
5年
山口信之（片平）
根占勝彦（新百合ヶ丘駅南）
山下茂男（百合ヶ丘勧交会）
藏立　昭（百合丘三丁目）